



ダイヤフラムパッキン ボールタップ止水パッキン ASSY

【取替えの注意】

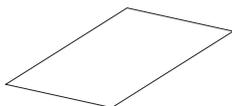
各部の組付けは確実に行ってください。
※漏水および止水不良、洗浄不良の原因になります。

部品の確認

<ダイヤフラムパッキン>

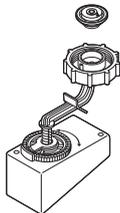


ダイヤフラムパッキン

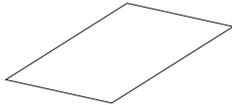


施工説明書 (本紙)

<ボールタップ止水パッキン ASSY>



ボールタップ止水パッキン ASSY

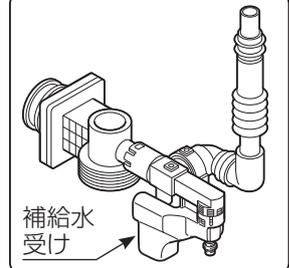
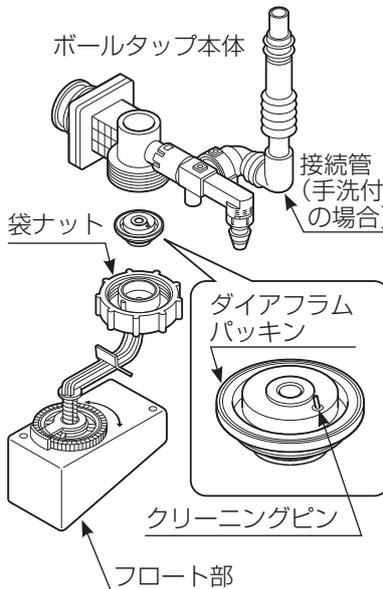


施工説明書 (本紙)

各部のなまえ

※機種により組付方向が異なります。

補給水受け有りタイプの場合

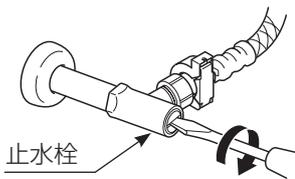


施工方法

※機種により組付方向は異なりますが、施工方法は同じです。既設の機種の組付方向をあらかじめご確認ください。(イラストは一例です。)

古いダイヤフラムパッキンの取外し

1. 止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して、タンクへの給水を止めます。



2. 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。

【注意】

タンクの手洗吐水口から水が出ないことを確認してください。

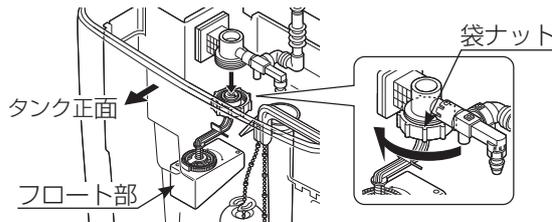
3. ロータンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。

4. 内フタを外します。

【注意】

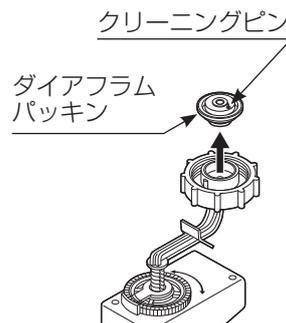
手洗付の場合、接続管を先に外してから、内フタを外します。

5. 袋ナットを時計回りに回して、フロート部を外します。



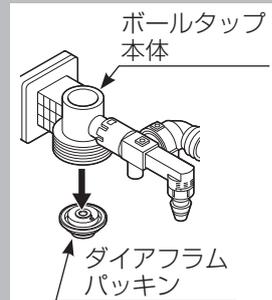
6. 取り外したフロート部から、ダイヤフラムパッキンを外します。

※この時、クリーニングピンの位置と向きを確認してください。



【注意】

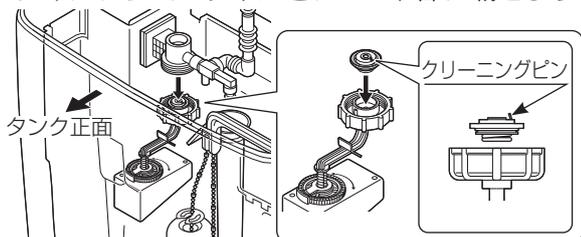
ボールタップ本体下側に張り付いている場合があります。



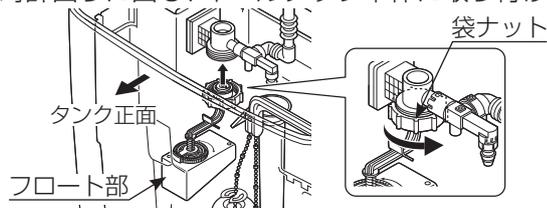
施工方法

新しいパッキンの取付け

1. クリーニングピンの向きと取付位置に注意して、新しいダイヤフラムパッキンをフロート部に載せます。

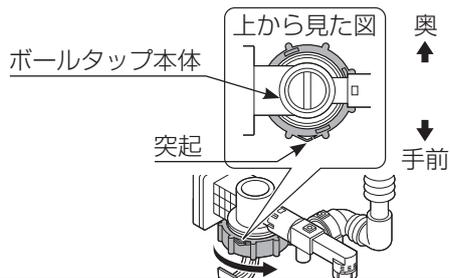


2. フロート部の向きを既設品と同じにして、袋ナットを反時計回りに回し、ボールタップ本体に取り付けます。



【注意】

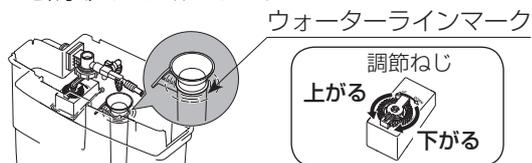
袋ナットの突起が、上から見てボールタップ本体の手前側にあることが確認できるまで、袋ナットを手でしっかり締め付けてください。



3. 止水の確認をします。

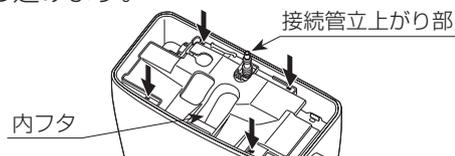
- (1) 接続管をタンク内下向きにします。
- (2) 止水栓を反時計回りに回して全開にし、通水します。
- (3) 止水位がウォーターラインマークに合っていることを確認します。

※ 止水位が合っていない場合は調節ねじを回して水位を調節してください。



4. 内フタを取り付けます。

- (1) **手洗無の場合**、矢印（図中）4カ所を押して、内タンクにしっかりとめ込みます。5. へ進みます。
手洗付の場合、内フタに接続管を通し、矢印（図中）4カ所を押して、内タンクにしっかりとめ込みます。



- (2) 接続管立上がり部を内フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとめ込みます。



【注意】

接続管は内フタに確実に取り付けてください。
※ 取付位置を間違えたり、取付けが不十分だと漏水の原因になります。

5. ロータンクフタを取り付けます。

手洗付の場合、手洗吐水口の下端部に接続管を確実に差し込んでください。



【注意】

接続管は内フタにしっかりとめ付けてください。
ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※ 漏水の原因になります。

取付後の確認

1. 漏水がないことを確認します。

- (1) 洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を数回行います。
- (2) 各接続部に漏水がないことを確認します。

【注意】

水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

2. 便器洗浄を確認します。

- (1) 便器鉢内に長さ約 760mm のトイレットペーパーを丸めたものを 7 個入れます。
- (2) 1 回で排出できない場合は、内部金具を点検します。

3. 溜水面の点検をします。

- (1) 便器洗浄を数回行った後、便器の溜水面が低下しないことを確認します。

